



海老沼小だより

～かしこく やさしく たくましく生き抜く子
笑顔と歌声あふれる学校～

10月号
令和3年10月1日
さいたま市立海老沼小学校



ハイブリッド授業 ㊦

校長 宮本 江津子

実りの秋となりました。私の一番好きな果物の桃は、夏の果物なので、もう季節は終わってしまいましたが、梨、ぶどう（最近はシャインマスカットにはまっています）柿、栗、サツマイモ・・・と甘くおいしい充実した実りの季節がやってきました。この後、りんご、みかん・・・と私の大好きな果物が続いて出てきます。子どもたちの成長にとっても、充実した実りの秋となって欲しいものです。

さて、2学期の始業式から、早1ヶ月と1週間、対面授業とオンライン授業を同時に提供する『ハイブリッド授業』を実施してきました。特に、ご家庭でオンライン授業を受けていた子どもたちの保護者の皆様には、ご協力いただきましてありがとうございました。当初は、接続できなかつたり、画像や音声不安定だったり不具合があり、大変ご迷惑をおかけいたしました。

学校でも、突然の『ハイブリッド授業』への対応となり、準備不足や教職員の研修不足は否めず、懸命に対応しているものの、どうすればよいのかわからないことも多々あり、日々勉強そして改善の毎日でした。まだまだ改善の余地はあると思いますが、接続はだいぶ安定し、ホッとしたところです。

オンライン授業で、対面授業をそのまま配信すると、「黒板の文字が見えない」「先生の声が聞こえない」「オンライン授業を受けている側は、疎外感を感じる」等、様々なデメリットの声が届いてきました。確かに、オンライン授業だけを行っているわけではなく、目の前に子どもたちがいて・・・目の前では、様々な事態が起こっていて・・・現実には、先生方は、オンライン上の子どもたちと対面授業の子どもたちの両方に対応することになっており、難しさがありました。

そして、今日、緊急事態宣言が解除されました。久しぶりに顔を見る子どもの様子は、1か月前から登校していた子どもたちとは、ちょっと違います。まだ、夏休み明けのような感じでしょうか・・・。周りの子どもたちのペースに乗れるでしょうか。ちょっと心配しながらも、出会えたことへの喜びを感じ、笑顔で声をかけていきます。生活リズムが、早く整えられるといいですね。

試行錯誤していた授業は、通常登校による対面授業にもどります。安心メールにもあったとおり、ご不安な方には、個別に対応させていただきますので、ご相談ください。

少しずつですが、学校行事も実施していきたいと思っております。感染防止対策を徹底しながら、子どもたちのために、子どもたちとともに、できることは何か、どうすればできるのか etc 考えながら、教育活動を進めてまいります。まずは、6年生の修学旅行に行けるといいなあと思っています。ご家族の方々も、お子さんと共に健康管理をよろしくお願いたします。